

令和元年12月議会
経済振興委員会 報告資料

福岡空港における
平行誘導路二重化及びヘリ機能移設について

令和元年12月
港湾空港局

1 平行誘導路二重化について

(1) 事業目的

空港の利便性向上や航空機の慢性的な遅延の緩和等を目的として、平行誘導路の二重化を実施するもの。

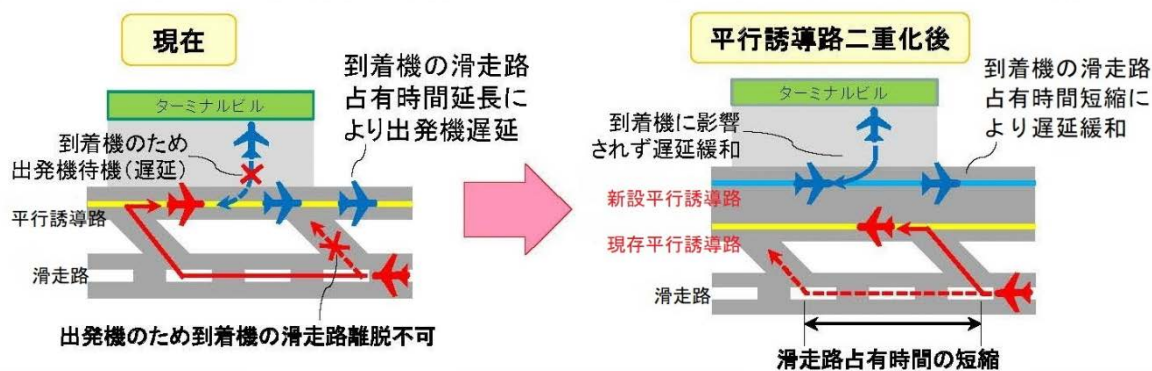
(2) 事業概要

- ・事業主体：国（国土交通省）
- ・事業期間：平成24年度～令和2年1月
- ・滑走路処理能力※：17.6万回/年（二重化後）

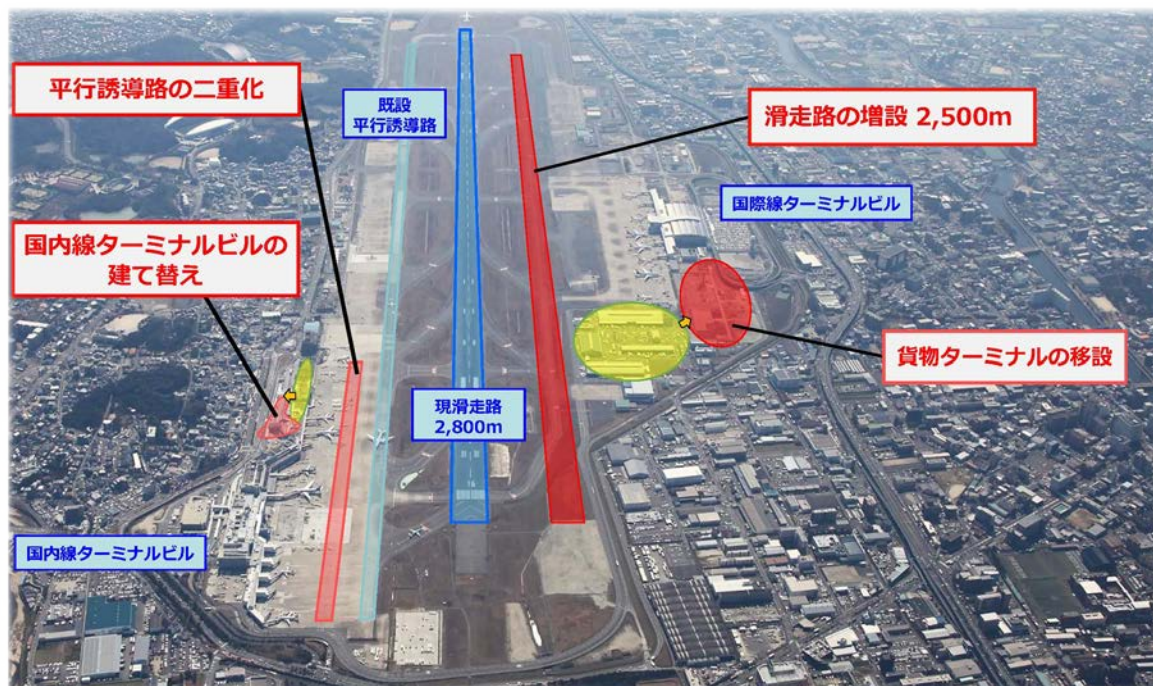
※混雑や遅延がなく安定的に滑走路処理を行える発着回数の上限值

(3) 運用開始

平行誘導路二重化の整備が令和2年1月末に完了することに伴い、令和2年夏ダイヤ（3月29日～）より、1時間あたりの発着回数の上限值を現在の35回から38回に拡大して運用される予定。



■福岡空港の概況



2 ヘリ機能移設について

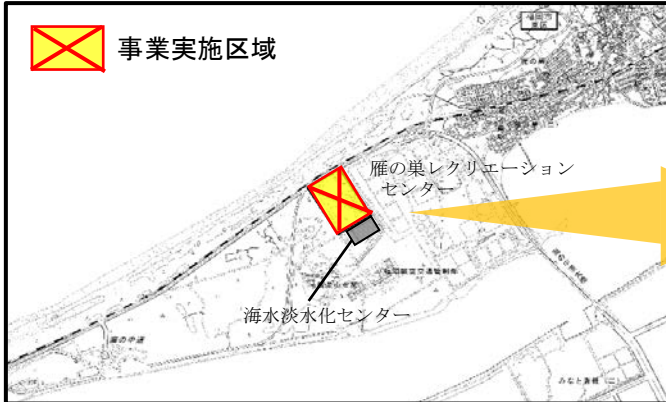
(1) 事業目的

ヘリコプターの迅速な運航及び住民の安全・安心の確保等の役割を最大限に発揮することを目的として、ヘリ機能の移設を進めるもの。

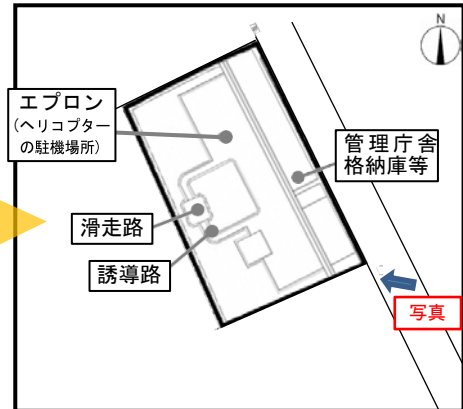
(2) 事業概要

- ・事業主体：国（国土交通省）
- ・事業期間：平成30年度～令和2年3月下旬
- ・所在地：福岡市東区大字奈多字小瀬^{こせぬき}抜
- ・面積：86,600㎡
- ・基本施設：滑走路，誘導路，エプロン
- ・ターミナル施設：管理庁舎，格納庫等

位置図



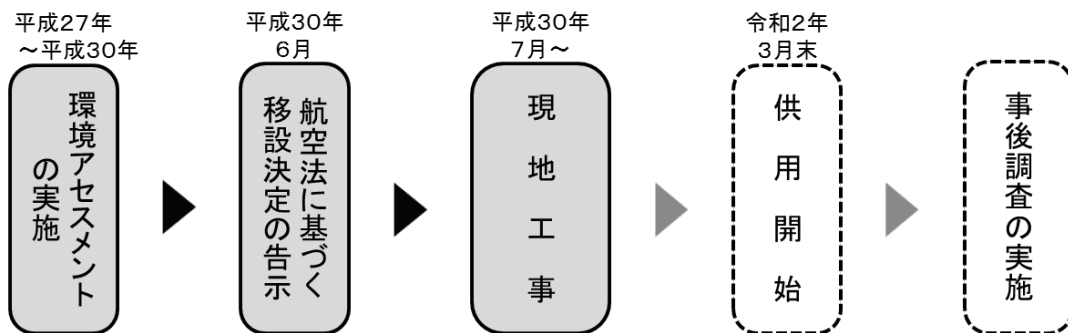
ヘリ施設拡大図



(3) 供用開始

ヘリ施設の工事が令和2年3月下旬に完了することに伴い、令和2年3月末から供用開始する予定。

■スケジュール



■現況写真

令和元年10月31日撮影

